



# おはようロスアンゼルス

倫理研究所U.S.A. 南カリフォルニア倫理の会

10月号会報

2202 W. Artesia Blvd. Unit L Torrance, CA 90504

minriUSA711@gmail.com

2016年(平成28年) 10月1日(土)

NO. 182

## 富士研受講

五班 尾崎宏乃進

僕は今年の夏、両親に促されて日本へ三泊四日の倫理中学高校生セミナーを受けに行きました。当時、このセミナーの話を聞いて、僕は「日本に行つてまでセミナーか…」とお世辞にも良いとは言えない反応をした覚えがあります。人見知りと授業嫌いが相まって僕の脳は「セミナー」という単語に、微かではあります、拒否反応を起こしていたからです。

そして当日、あまり期待もせずに飛行機、新幹線、タクシーへと乗り込み、セミナーの開かれる静岡に着くと、僕は倫理研究員の方々に手厚く歓迎されました。研究員の皆さんは当然の如く明るく、はきはきとしており、見るこちらまで元気が湧いてきました。

セミナーの開かれた富士教育センターの周りは緑が多く、とても息がしやすかったです。着いてからは、まず貴重品を預けたり、部屋に案内されたりして他の受講生が来るまでの時間を過ごしました。セミナー受講者は全部で五十人で、五十周年創立記念

にはびつたりだと思いました。全員揃うと、まず班員同士、挨拶を交わしたり、リーダーを決めたり、セミナーを受講するにあたって守らなければならないルールを学んだりで忙しながらも、少しずつみんなの緊張を解していきました。やはり外国からの受講者は僕一人だけだったようで、自己紹介の時に驚かれたのはいい思い出です。

次の日の朝、僕たちは予定されていた富士・宝永山頂に登る為に朝早くに起床、バスに乗り込み、六時から登山を開始しました。やはり運動不足だったのとサイズの合わない地下足袋を履いていたせいか、登りはきつかったです。が、そのおかげで山頂に着いたときのえも言われぬ達成感は今でも心に残っています。

登山も終わり、山登りで一体感を得た受講生達と、その後仲良くやっついていくのは容易かったです。一日二回はあった講座やワークショップでは皆が皆の為に気を配り、息を合わせて、出来るだけ楽しめました。先生や講師の方々もたいへん優しく、みんなとの距離も短い間で一気に縮まりました。

ワークショップや講座ではこれからの態度や姿勢、習慣の大事さと、それらを続けてゆく大切さを学びました。そしてその間にあった食事や自由時間を利用し、受講者同士で談笑し、更に親しくなりました。僕はそこで英語を教える代わりに日本語を教えるらしい、日本の知識を深めて帰ってくる事ができました。

そうこうしているとセミナーも終わりを迎え、みんなが帰る時になるまで僕は泣き出すとは思いませんでした。やはり衣食住を何日か一緒に過ごすだけでみんなとの距離は予想以上に縮まるようです。

感想としては、飯はうまいわ、人は優しいわ、新しい体験ができるわで、良いこと尽くしだったので、是非また今度は青年の部で参加したいです。

## 本部移転のお知らせ

八月一日より、本部は東京都千代田区紀尾井町四五に移転しました。



伏木部長が写真をメールしてくださいました。綺麗な建物ですね。

『新世』九月号の新世言で丸山敏秋理事長が、倫理研究所と紀尾井町を「意図してその場所を物色したのではないだけに、まるで引き寄せられたかのような縁の不思議を思わずにおれない」と書いておられます。いつか訪問いたしましょう。

## 橋勝雄会長

### 退任の挨拶

八月二十八日(日)朝の集いで、退任の挨拶をされました。

二〇一三年から三年間、会長を務めて参りました。皆さまのご協力により職務を全うできましたこと、心より感謝申し上げます。これからも倫理の発展に力を注ぎます。

と、しみじみ述べられました。

倫理スピーチ、二世週祭参加など、楽しい企画をしてくださいました。

橋会長、ありがとうございます。



### 藤麻一二氏

八月二十一日(日)朝の講話をしていただきました。

藤麻氏は、(株)フジマ社長で、(二社)倫理研究所理事、法人局法人スーパーバイザーです。

(株)フジマは山口県柳井市にあり、祖父が始めた鮮魚卸業から、飲食事業を拡大し、現在は総合サービス業グループとして多彩な事業を展開している。

藤麻理事は明るく、和やかな雰囲気です。まず、落語「親の顔」を取り上げられました。落語は試験問題と答えのズレの滑稽さ、なのですが、実は現実の世の中は、その答えが正しいとは限らないということです。

(株)フジマは創業六十五年である、飲食業の平均寿命が二十年と言われる中では長寿を保っているが、それは倫理に則して言えば「易不易」に適ったやり方をしてきたからである。

「易」と「不易」は一緒に存在する。「易」は事業の戦略など、時代に応じて変えなければならぬもの、「不易」は創業

の思い、理念という決して変えてはいけないもの、それを祖父、父、自分としつかり受け継いで来たからだと思う。

日本一美味しい魚を提供するという気持ち、働いてくれる社員とは家族のような温もりの中で一緒に一所懸命働く、こういう喜働が大切です。

喜働には家庭が大切です。会社が続く原点は家庭にあると言っているのです。親の恩を思い、親孝行をする、夫婦仲良くすることです。

そうして、山口県の歌手、京太郎さんの歌「おやじにほめてもらいたくて」を聴き、相田みつをさんの詩「そのうち」を読んでいたいただきました。

倫理法人会の方ですが、朝の集いにお迎えできたことに感謝の念でいっぱいです。柳井市の名物「金魚提灯」と「白壁」の栞をたくさんいただきました。ありがとうございます。



### 海ゴミが教えてくれるもの

八月二十八日(日)朝の集いにダンス・4・オーシャンズのカナ・ジョーンズ氏を迎えて、講話をしていただきました。

今回はプラスチックに関するお話しでした。

一九五〇年代にプラスチックが広まり、世界は変わってしまいました。プラスチックの原料は石油ですが、硬化剤などの化学物質を混ぜると全く違った物質に変化し、二度と土に戻りません。プラスチックから有毒物質が出ることはよく知られています。

ロスアンゼルス市の地下を海まで流れる下水道はプラスチックのゴミだらけで、清掃費用は年間三十六億円だそうです。無造作に捨てられたプラスチックは環境を変えます。子亀の時にプラスチックの輪が身体にはまり、絞るような体形の大亀。死んだラクダの胃からは三十キログラムのプラスチックが見つかりました。年間百万羽の鳥、十萬頭の動物がプラスチックの被害で死んでいます。

海には広い範囲にわたって細かいプラスチックがスープのように海中で浮遊しています。

リサイクル業者がプラスチックバッグを粉砕する時、薄いバッグが機械にからまり、機械を止めなくてはならない場合があり困るそうです。だからリサイクルではなく、私達は最初から使わないのです。布のエコバッグ、ナイロン製のサンドイッチバッグ、マイカップ、マイ箸、マイお持ち帰り用瓶、ストロー不要など自分が出れることはたくさんあります。

地球を救うのは私たちです。パワーポイントで聞く説明は悲しいものばかりで、簡便なプラスチックの恐ろしさが良くわかりました。地球倫理の実践としてプラスチックの使用を極力やめようと心に誓いました。





### 七夕飾りと盆踊り

今年も会員の努力の結晶、七夕飾りがアラメダ通りに飾られました。賞は逃しましたが一所懸命作ったので悔いはありません。楽しい思い出が残りました。

.....

# 世界玄 静人事

南カリフォルニア 石岡美紀江

6席 石岡美紀江

# 世界玄 静人事

南カリフォルニア 小倉治望

8席 小倉 治望

# 世界玄 静人事

南カリフォルニア 小山春香

9席 小山 春香

盆踊りは八月二十一日、二世週祭最後の街頭音頭で夏の締めくくりです。「倫理」を染め抜いた紺のハッピを来た私たちは「道徳を学ぶ会、倫理USA、三回連続参加」と紹介されました。藤間さんのリードで楽しく踊りました。来年は皆さんも参加してください。



### 実践報告

三班 梅本和子

#### 清掃の実践

大腿骨の手術を三回して、もうハイヒールは履かないと決めました。靴の処分をしようとクロゼットを見たら、着ない洋服の多いこと。四十六年前の渡米時の洋服まであります。今がチャンスと大掃除をしました。

靴が十二足、洋服は袋八個もありました。靴は磨き、洋服は洗濯をし、アイロンをかけ、感謝の言葉をかけて、リサイクルショップへ運びました。

倫理では死蔵は気が沈むといえます。風通しが良くなったクロゼットを見て気持ち明るくなり生活が楽しくなりました。

#### 時計

オフィスに新しい時計がかかっています。これは橋本祐子さんが、橋本学さんの百日が無事に済みましたので、と倫理に寄付してくださったものです。

学さんのやさしい笑顔が思われるような素敵な時計です。ありがとうございます。

### 朝の集い活性化委員会

五月三十日から毎週、朝七時に集まって、朝の集いの活性化のために、話し合いをしてくださいっています。

次のことが決まりました。

- ① 出席カードに判子をおす
- ② 倫理頌歌を先に歌う

(先に声を出すことで気持ち前向きになる)

- ③ マイカップ、マイ箸、マイ

タオル運動の推進

(地球倫理の一環)

- ④ 会の一ヶ月の目標を作る

八月の目標

「ゴミ」を出さないようにしましょう

- ⑤ 第一日曜に、自分の今月の

目標を発表する

- ⑥ 実践報告や連絡のある人は一番前の席に座っておく

(サツと演台に移れるように) 活性化委員の皆さま、早朝から本当にありがとうございます。

朝の集いを楽しくしたいと思います。朝の集いの方どうぞ参加してください。アイデアをお待ちしております。

おめでとうございます

『しきなみ』九月号

青泉集(中東京・海外)

三席 飯田隆

息子から一緒に飲もうと誘われて延々五時間語り合いたり

『秋津書道』九月号 競書

三席 滝川政和 芸術部(碧の部)

四席 堀井幸江 高等部(東京)

七席 咲田静子 々々

入選 梅本豊造 々々

入選 立川宏子 一般部(東京) 草書

一席 前田グレース 一般部(東京) 行書

四席 井上郷子 一般部(東京) 楷書

六席 石岡美紀江 々々

八席 小倉治望 々々

九席 小山春香 々々

入選 香山幸子 々々

調和体

四席 滝川政和 芸術部(碧の部)

四時無形潜

寒暑以化物

3席 滝川 政和

褚遂良の特徴をよくとらえていて、筆遣い巧みです。

新緑香

願福勤

4席 堀井 幸江

流れよく特に愛の字は素晴らしいです。

永世倚  
仰志人

1席 前田グレース

落款まで丁寧に書かれたさわやかな好作品です。

世界玄  
静人事

4席 井上 郷子

伸びやかに書かれ余白も美しいです。

しきなみ短歌

朝まだき地震警報飛び起きる小さき揺れに身構えており

子等からの誕生祝いのコンポスト日々の生ゴミ良い土になれ

森田のりえ

草野律子

ひっそりと暗き展示のかたすみ小さき小石「月の石」とあり 摺木洋子

やわらかな初夏の光はあたたかくすべての命の輝きて見ゆ 松元依子

岩山の頂点よりの景観に卒寿過ぎたる夫登りゆく 滝川歌子

見送りて十二年経るも胸よぎる共に歩みしぬく 杉野和子

何事も「あゝいいよ」との一言で受け止めくれし 長谷川公子

友のあたたかさ 伊澤潤子

我にのみ祖父が語りしエピソード秘すこと出来 飯田隆

ず母に告げし日 梅本豊造

静寂な早朝にひびく歌声は我等が思い「夢かざりなく」 梅本和子

母の日に五人の母が集まりて子育て談話盛り上がりおり 門園美枝子

パーカーは靴乱暴に脱ぎ捨ててじじばばの靴見詰め揃える 松永典子

幸せの香り静かに漂いぬ娘より届きしバラの花 尾崎よしみ

束 小学生の短歌で受ける表彰に講演会場一氣に和む ホン史子

妖艶な歌舞伎役者の花魁に隣席の男(ひと)「ホー」とため息 松永典子

うらびれた街にひとときわ目立つカフェ若者集うラッテと共に 尾崎よしみ

山歩き行き交うごとに挨拶はさらに明るくもつと大きく 武田ゆき

紅梅の蕾々に一つずつ白・透明の雫輝く 甲斐靖幸